特　集

PDCAサイクルにより運営の改善等を図るクラブ

一般社団法人たかぎスポーツクラブ
＜長野県喬木村＞

自立・自律したクラブへと至るためには、クラブ理念を踏まえ、将来的な到達点を明確にした目標を設定する必要があります。そして、その達成に向けた具体的な取り組み計画を策定した上で、計画に基づく活動を着実に実行し、その内容および効果を定期的に検証することによって常に改善を図っていくといったPDCAサイクルによって取り進めることが重要です。

そこで今回は、PDCAサイクルにより運営の改善等を図るクラブの取り組みを紹介します。

★「PDCA」とは、P（Plan「計画」）・D（Do「実行」）・C（Check「検証」）・A（Action「改善」）の頭文字から名付けられた効率的な業務遂行のサイクルを表した考え方のこと。
「総合型地域スポーツクラブ育成プラン2018」（平成30年4月1日：公益財団法人日本スポーツ協会）

1 クラブ概要

豊富なスタッフ・指導者を確保し53クラスを運営

たかぎスポーツクラブは、誰もが、いつからでも自分のレベルや意向に合ったクラスで活動ができることを目指しています。

スポーツ・文化活動の楽しさを伝えること、コミュニケーションを大切にすること、成長に目を向けること、他者を尊重し自主性を重んじること、学び続けることを指導方針としています。

事務局はクラブマネジャー1名、サブマネジャー1名、常勤スタッフ2名、非常勤スタッフ2名、理事8名、監事1名で構成されています。外部指導者は20名以上を数え、多種目の指導を行うことが可能です。現在、53クラス（テニス部門17クラス、リズム・ダンス部門6クラス、健康部門6クラス、ヨガ部門2クラスなど計10部門）を運営しています。

クラブの活動や運営に関して意見交換を行える場を設けるために、会員から委員を選出し、運営委員会を設置しています。運営委員会では、会員の入会状況の報告や、これから企画されているイベントの内容、各クラスで出た要望などで意見交換が行われます。

2 村の環境、会員の声を踏まえP (計画) とD (実行)

スタート時は施設を生かした教室が不在

総合型地域スポーツクラブを立ち上げた時の喬木村には、テニスコートやグラウンド、体育館といった誰もが使用できる場所があるにもかかわらず、それを生かすことができる指導者付きのレッスン形式のクラスがありませんでした。

立ち上げ当時の職員がテニスの指導ができたため、子どものテニスクラスの開講からスタートしました。テニスクラスは日曜日の開講だったため、参加率を上げるためには日曜までに子どもたちが宿題を終える必要があると考え、学校の宿題に取り組む「学習クラブ」を始めました。

村の環境等に着目し各種クラスを開講

その後は、高齢者が多い地域であることに着目し、会員数増加を目的に高齢者向けのクラスを開講しました。また、クラブの運営において活用できそうな情報があれば、そこをチャンスと捉え、クラスの開講に結び付けてきました。

会員の選択肢拡大のために、職員が考え提案と行動

このようにクラブ設立当初から、会員のクラスの選択肢を広げるためにはどうすればいいのか職員自らが考え、クラブにとって必要な提案を生み出し行動に移してきたことは、現在のクラス運営にも生かされています。

会員の声を吸い上げ実施計画を策定(P)

P(Plan)

- 指導者側・クラブ側が計画をして行うクラスや、会員の方から「〇〇のクラスをやってみたい」という意見をいただくだけでなく、パンフレットやホームページを見てくださった方から「〇〇の資格を持っています。このクラブでクラスの新規開講ができますか？」などとお声がけいただいています。

- 会員の方からの持ち込み企画もあり、持ち込みの趣旨などを聞き取りしたあと、「目的」「参加者対象」「内容」「開催日時」「参加費」「発案から初回開催日までのスケジュール」「収支」などを記載した企画書を立てます。企画者が一人で「立案～開講」にならないよう事務局の中でも企画書を確認します。

- こうした申し出を基に事務局側で実施計画(クラスの対象年齢、時間、場所、会費の設定など)を立てます。

- 対象年齢によって開催時間を考慮します。年齢の高い方向けであれば平日の午前中、子ども向けであれば平日の学校・保育園終了後の時間や土日、社会人であれば平日の夜間や土日の昼間など多くの方が参加できる方法を提案します。

- 会費はクラブ内で設定されている基本料金を基に算出します。

D（Do）

- 事務局立案→理事会での検討を行い、実施可能であれば会員の方向けにホームページやチラシで案内します。

- 実施計画を基にクラスの開講、運営を実施します。

【会員の方の声から誕生し、活動しているクラス】

- 筋トレストレッチサークル
- ソーイング（裁縫）サークル
- フラメンコクラス
- バスケットボールサークル

目的	・今までたかぎスポーツクラブになかった活動を開始することにより、クラブの会員増につなげたい。 ・会場を確実に確保できるようにスポーツクラブでサークルとして立ち上げる。
参加範囲	・村内外の在住者
内容	・代表者　●●さん ・材料費等は個人負担なので、クラブからの持ち出しは特になし。 ・筋トレ・ストレッチに参加している会員で裁縫が趣味というかたが、筋トレ・ストレッチ終了後そのまま活動できるように月２回　第1.3水曜日に行う。
開催日	・3月10日（水）10時～12時（3月は会場の関係で第2.4水曜日に開催）
開催場所	・みんなの広場　アスポ会議室
参加費	・1ヶ月　■■円
募集方法	・ホームページ記載
当日までの動き	3月初め　運営委員会で確認 3月開始（ホームページ記載） 3月10日（水）～活動開始
目標参加人数	8人
収支	■収入の部 項目　単価　月　数量（人数）　備考　合計 参加料・　（会員）　***　8　×××× 収入の部　合計　××××円

会員のかたの持ち込み企画の
企画書例です。

会員の方の声からスタートしたバスケットボールサークル。
チラシを作成し、参加者を募集します。
ホームページで紹介したり、クラブ事務所の案内チラシ置き場で宣伝します。

3 検証 (C) で見えてきた新たな課題を改善 (A)

気づき（C）を認識し事務局で改善を協議　大切な意見交換

C（Check）

- 実施されているクラスに関し、会員・指導者から意見をいただくことがあります。これは事務局側が気づけていない部分・問題点だと認識し、まずは事務局側でどのように改善したらよいか意見を出し合います。事務局で改善が難しいと判断した場合は、他の指導者や関係機関に相談をしながら改善を図ります。

- たかぎスポーツクラブでよく起こることが、会員数の偏りです。テニス部門は比較的どのクラスも登録者数、参加数が多いですが、他の部門は開講していても登録者数がゼロのクラスもあります。このようなクラスに会員を集める場合にはどうしたらいいか、このクラスが存続していくためには何をしたらいいのか、事務局と運営委員会で意見を出し合います。

実施後に問題点が生じれば、さらなる改善（A）に取り組む

A（Action）

- 教室に参加している会員・指導者から出された意見に対し、事務局側で決定したことを参加会員・指導者に伝えます。その内容で実施していただき、また問題点などが発生した場合はさらなる改善を行うことで、会員、指導者、事務局の全体がスポーツ・文化活動に参加できる体制をつくります。

- 会員数の偏りの改善策としては、毎月参加の定期活動ではなく、時間ができたときにちょっと参加することが可能な「単発参加の枠」を設けることや、継続できるかどうか分からない方のために1か月だけ頑張ってみる「1か月お試し入会枠」を設けることで様子を見てもらい、継続参加ができるかどうか判断してもらうなどの対応をしています。
  「単発参加」には現在も数人の方が登録され、２～３年連続で単発参加枠に申し込みいただいています。
  「1か月お試し入会」ですが、こちらに参加していただいた方のほとんどが、正式に入会手続きをされています。

4 クラブのこれから

生涯スポーツの実現に努力

- 喬木村や近隣市町村の住民が、運動やスポーツを続けることができ、「健康」「生きがい」「仲間」を持ち続けられる社会をつくる一員として、たかぎスポーツクラブが存在できるように努めます。

参加者の満足度向上と文化系クラスの増設を

- 会員数を増やすだけでなく、会員の方・参加する方の満足度を向上させていきたいと考えています。今は運動系のクラスが多いですが、文化系のクラスも増やして参加者の選択肢を増やしていきたいです。

障がい者との共存も視野に活動

- 障がい者スポーツに取り組みます。当クラブでは障がいのある方も受け入れておりますが、現実的には障がいがある方でクラブ活動に参加している方はごく少人数です。障がいがあっても運動・スポーツを楽しんでいただける、インクルーシブな活動も継続していきます。

幅広い層の誰もが楽しめるクラブを目指す

- 障老若男女、障がいの有無、運動の得意不得意、居住地に関係なく、地域とともに誰もがスポーツ・文化活動に取り組めるクラブを目指します。

（一般社団法人たかぎスポーツクラブ　サブマネジャー　小林 典子）

クラブ プロフィール

設立年月日　平成25年4月1日（平成29年4月1日法人登記）
所在地　長野県下伊那郡喬木村6695番地1
運　営　会員数555名（令和3年3月現在）、予算規模140万円（令和3年度）
特　徴　・多様性　様々な世代の方が、色々な活動を、それぞれの目的・志向で楽しんでいます。
・主体性　会員が主体となって運営・活動しています。
・流動性　多くの活動があるので1つの種目をやめてもクラブ内で新しい種目へ移ることができ、新しいことにどんどんチャレンジできます。

連絡先　〒395-1100　長野県下伊那郡喬木村6695番地1
TEL　0265-33-5570　　FAX　0265-33-5330
URL　https://takagi-sportsclub.jimdofree.com/
E-Mail　takagi.sportsclub@gmail.com